



ブログのページへ
ジャンプします。

コミュニティMefu
売布21

めふひろば

美しい住環境と豊かな交流を育てていくまち



初夏の遠足

米谷青年團と子供会

5月25日に米谷青年團が米谷子供会の小学生を引率する遠足がありました。今年はずいぶん40人と青年團10人、保護者の方々も参加していただき総勢67人での参加となりました。行き先は池田のカップヌードルミュージアムです。午前中はオリジナルカップヌードル作りを体験し、午後は池田駅前公園で青年團と鬼ごっこやボール遊びを楽しみました。天気にも恵まれ、たくさん汗を流しながら楽しい時間を過ごしました。



散歩の途中で...

連休明けの5月9日、爽やかな陽気に誘われて、清荒神清澄寺まで散歩に出かけました。



駅から参道へ入ってすぐのところにあるギャラリー六軒茶屋の前に差し掛かると表に『みんなで作る作品展』という看板が目に入りました。何気なく中を覗いてみると、知人が受付で手招き。誘われるように入っていくと、所狭しといるような作品が展示されていました。日頃から売布近辺の教室で楽しんでおられる方々が1年に1回この場所で作品を持ち寄り、発表されているそうです。日本画、洋画、写真、版画、アクリル画、手芸などの習作が約1000点ほど展示されていました。思いがけなく得した気分になったこの日、たまには散歩のコースを変えるのも、良いものだと感じた午後でした。

売布小学校区まちづくり協議会(コミュニティ売布)のブログをご覧ください。



行事報告やイベント、大事な会議の報告など、最新の情報をアップしています。左のQRコードからコミュニティ売布のページが簡単にご覧いただけます。

編集後記

今年は梅雨入りが遅く一部では水不足の心配もあるそうですが、昨年のような豪雨に見舞われないことを祈っております。さて、この度、売布小学校区まちづくり協議会のFacebookページを立ち上げました。これまでのブログページに加えてSNSを活用して、情報をどんどん発信して参ります。今後Instagramページの開設も検討中です。地域のニュースや行事、めふひろばに取上げてもらいたい情報など、Facebookを通じて是非お寄せください。(F)

2019年7月1日発行

[発行].....売布小学校区
まちづくり協議会
「コミュニティ売布」
[発行責任者]...上田紘夫
[広報部長].....福高維展
[編集委員].....船橋潤子 射場秀雄
中尾憲史 塚本俊介
坂東昭典 笹田光治

事務局/旧売布幼稚園(売布小学校内)
Tel・Fax:0797-84-9383
E-mail:com.mefu.21@gmail.com



Tokuko
Fukumoto

PROFILE

- 生まれも育ちも宝塚。宝塚小学校、宝塚中学校、宝塚東高校卒業。
- 家族は、夫、二十代後半の息子と娘。
- 趣味は、キャンプ。硬式テニスは、二年前に腰椎を圧迫骨折して以来チャレンジしていません。
- 時々、よしもと漫才劇場に行きます。
- 好きなラジオ番組「田辺真人のまっことラジオ」「三枝輝行の商い勘所」
- 子どもの頃に大好きだったテレビ番組「大草原の小さな家」

どうぞよろしくお願いいたします。

誇らしいこの地域の 一員となって

みなさま、はじめまして。この四月に売布小学校に着任しました福本徳子です。三月末まで宝塚市教育委員会に十三年間勤務しておりましたので、久しぶりの学校勤務です。保護者や地域の方のお力をお借りしながら、子どもの教育活動を豊かなものにしていきたくと考えています。教育基本法の第一章第一条には、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。」とあります。子どもを豊かに育むことをめざして精一杯取り組んで参ります。

宝塚市立売布小学校長
福本徳子 先生

どうぞよろしくお願いいたします。着任して二か月余りが過ぎました。この短い期間に、まちづくり協議会の役員のみなさまと何度もお話する機会がありました。みなさまがそれぞれの立場で、この売布小学校区に住むすべての方の幸せや安全を願って、丁寧に活動に案を練り、明るく楽しく活動されている姿に触れさせていただきました。なんとすばらしい地域なのでしょう。私もこのまちの一員として、できる限りのことをして参ります。

地域力に支えられて 実を結ぶ協働の教育

さて、次年度から完全実施となる新学習指導要領には、「家庭や地域社会との連携及び協働と世帯を越えた交流の機会」として、次のように記載されています。

「学校がその目的を達成するため、学校や地域の実態等に応じ、教育活動の実施に必要な人的又は物的な体制を家庭や地域の人々の協力を得ながら整えるなど、家庭や地域社会との連携及び協働を深めること。また、高齢者や異年齢の子供など、地域における世代を越えた交流の機会を設けること。」学校は地域の人々とともに子どもを育てていくという視点に立ち、地域社会との連携を深め、学校内外を通じた子どもの生活の充実と活性化を図ることが大切です。地域には、さまざまな専門性のある方がいらっしゃると思っています。どうぞお力をお貸しください。また、子どもとの交流をしても良いと思われる方も、どうぞお力をお貸しください。学校、家庭、地域社会がそれぞれ本来の教育機能を発揮し、全体としてバランスのとれた教育を行えるようご協力いただきますようお願いいたします。

また、世間では、さまざまなつらい事件や事案が起きています。学校と保護者が地域とつながって信頼関係を築き、地域全体で子どもたちを守るという意識を、既にみなさまには持っていたに感じます。登下校の見守りや防犯パトロールを実施していただいていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。私は、交通事故や不審者による犯罪を防ぎようがない事案だと片付けてはならないと思っております。被害者はもちろん、加害者を生まない社会づくりが重要だと考えます。道徳教育においては、道徳の時間のみならず、教育活動全体をとおして、自立心や自律性、生命を尊重する心や他者を思いやる心を育てることに留意しています。併せて、子どもが自分の気持ち、特に嫌な気持ちや、もやもやとした気持ち、いらいらした気持ちを、暴言暴力等ではなく、言葉で伝えることによって気持ちを整理し、落ち着けるよう育んでいきます。子どもが地域の方に対して、困っているというサインを出すこと、もあると思います。気にかかる様子を把握されましたら、学校にご連絡ください。お願い事ばかりで恐縮ですが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。